

木材保護塗料(WP)
JASS18 M-307
適合品

人と環境に優しく、使いやすく、優れた耐候性

外部用

WP

水性バトンプラス

自然系木材保護塗料



私たちは「日本の木の文化」を大切に考えています



人も地球も元気に!



創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー

大谷塗料株式會社

写真撮影:環境省選定名水百選 轟水源(熊本県宇土市)
Made in くもと©2010熊本県くもモン#K 29491

H 107F

自然にやさしい塗料



日本の風土に合わせ
日本の技術で造った
日本製の塗料

外部用

W P

水性 バトンプラス

水性 自然系 木材保護塗料(WP)

水性バトンプラスは、人と環境に優しく、耐候性のよい水性自然系木材保護塗料です
主原料は亜麻仁油等の植物油、顔料はベンガラ等の無機顔料、薬剤は植物由来のヒバ油等を使用した
高い安全性と溶剤系塗料に劣らない耐候性を有した塗料です



亜麻仁油



ベンガラ



ヒバ油



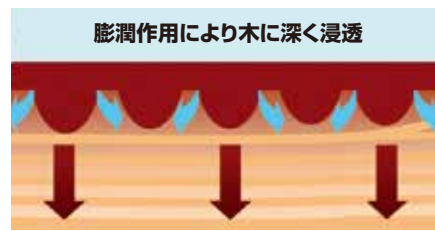
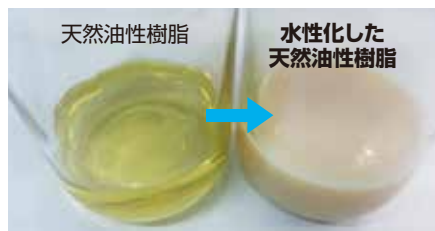
水

国産材に適した塗料

水性バトンプラスは、日本の塗料メーカーである大谷塗料が、日本の気候風土に合わせて
杉や檜等の国産材の耐候性が向上するように開発した塗料です

木材に深く浸透するメカニズム

水性バトンプラスは、
水性化した天然油性樹脂が水分の膨潤作用によって広がった木の繊維深くまで浸透します。



木目を活かした美しい仕上がりと高い耐候性を実現

退色・変色に強い優れた耐候性

水性バトンプラスは、
今までの水性着色剤にはない耐候性を有し、木材へ深く浸透するタイプのため、
造膜タイプのようなフクレ、ハガレは起こしません。
また浸透タイプのため、メンテナンス性に優れ、塗り替えも簡単です。

促進耐候性試験



水性バトンプラス
プランク



水性バトンプラス
促進試験板

※JIS K 5600 7-7に準拠した
湿潤サイクル試験 480時間照射にて比較

耐候性実績



3年半後



福岡県 JR東水巻駅

美しい仕上がり

水性バトンプラスは、
亜麻仁油の浸透効果と塗り伸び性により、油性やその他の塗料と変わらない塗りやすさを実現しました。
大きな面積や複雑な形状でも塗り継ぎムラなく美しく仕上がります。

塗り継ぎ試験



一般的な水性塗料



水性バトンプラス

木材への防虫・防蟻・防腐・防カビ

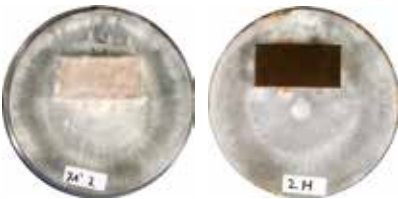
JASS18 M-307適合 **〈社団法人 日本建築学会〉**
木材保護塗料塗り(WP)規格に適合しています

防蟻テスト



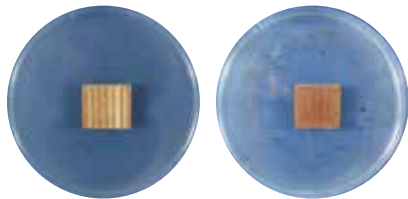
ブランク 水性バトンプラス

防腐テスト



ブランク 水性バトンプラス

カビ抵抗性試験



ブランク 水性バトンプラス

高い安全性

「揮発性有機化合物の室内環境濃度基準」適合
〈厚生労働省〉

該当する13物質は含みません

「学校環境衛生基準」適合
〈文部科学省〉

該当する6物質、及び鉛は含みません

「食品衛生法・食品、添加物等の規格基準」適合
〈厚生労働省〉

乾燥した塗面は食品衛生法・食品、添加物等の規格基準※に適合する安全性があります

※食品用器具及び容器包装(直接食品と接触する箇所)へのご使用は上記規格基準適合のみでは出来ません
食品用途へのご検討の際は必ず当社までお問い合わせ下さい



水性バトンプラス技術資料

試験方法: JASS 18 M-307(木材保護塗料(日本建築学会 建築工事標準仕様書)に準じる 試験品: 製品名 水性バトンプラス 色名: #8019 オールナット		
項目	規格	結果
容器の中での状態	かき混ぜた時、固い膜が形成して一層になるものとする	異常なし
塗布作業性	塗布作業に支障が あつてはならない	1 目盛り 異常なし 2 目盛り 異常なし
乾燥時間	18時間以内	18時間
塗面の外観	塗面の外観が正常であるものとする。	異常なし
促進耐水性	480時間の浸漬で、ふくれ・割れ・はがれがなく、色の変化の程度が見本品と比べて大きいものとする	目標の試験にて、見本品と比べて変化の度合いが少ない
かび抵抗性	試験体の接種した部分に菌糸の生育が認められないこと	異常なし

試験方法の詳細
容器の注ぎ容量: JAS K 8000-1-1 4.12 a) (液状塗料の場合)による
容量: 16 L、4 L、及び 0.7 L
それぞれ量に満たす。容量を量り、全体をかき混ぜ、塗布作業の場合これを繰り返して均一になるまでを要する。

試験条件: JAS K 8000-1-1 4.2 (乾燥作業性)による
試験体: ステンレス板 200×100×10 mm で、表面は90 サンドペーパーで研削して使用する。
また含水率は 20%以下(針式含水率計で測定)に調整する。
塗布量: はけで 80 g/m²となるように塗布する。

評価方法:
1 目盛り: 試験をやりかたに入れ、面を半分ほど塗り、へりについて乾燥する。長方向に面を塗り、規定の塗布量になるように塗布する。目盛は3 目盛りで乾燥するようにする。
2 目盛り: 1 目盛りの塗布後を 20〜24 時間後、1 目盛りと同等に塗布する。

乾燥時間: JAS K 8000-1-1 4.3 (乾燥時間)による。
試験体: 乾燥作業性で試験した 1 目盛りの試験体で評価する。
評価: 乾燥後、JAS K 8000-1-1 4.3.4 a) (食品衛生法の適合)による
試験片の乾燥を向上させる。乾き水平に、底に付かないようにして標準状態で規定の時間乾かし、乾燥の程度を調べる。
判定: JAS K 8000-1-1 4.3.5 (半硬化乾燥)による

半硬化乾燥: 塗面の中央を指先で触るに固くならず、指先で押すと凹み付かない状態。
18 時間以内であれば合格とする。

試験片の外観: JAS K 8000-1-1 4.4 (塗料の外観)によるほか、次の通り。
試験片: 乾燥作業性で試験した方法で、第4の試験と見本品を塗り付けて、24 時間水平に置いたものを試験片とする。
判定: 見本品と比べて色、つやの差異が少なく、はじき、漏れ(塗)、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時「塗料の外観が正常である」とする。

促進耐水性試験: 促進耐水性の試験は、JAS K 8000-1-1 によるほか次の通り。

試験片の作成
試験片は、スチールの板(100×70×10mm)8 枚とする。試験片、および見本品をそれぞれ 3 枚の試験板に塗り付け、7 日間乾燥させた後、同時に 1 目盛り付けて 14 日間乾燥。試験片とする。試験片、見本品も 3 枚のうち 2 枚について木口側面および裏面の処理をして、促進耐水性の試験に用いる。残りの 1 枚は提供試験片とする。塗布量は以下のようになる。

品名	1 目盛り塗布量	2 目盛り塗布量
水性バトンプラス オールナット	80 g/m ²	80 g/m ²
見本品	80 g/m ²	80 g/m ²

操作 促進耐水性試験の試験条件は、方法 1 の試験サイクル A による。ただし、乾燥期間中の試験温度は 50±5%とする。試験 480 時間を経過した後、取り出して室内に 1 時間放置し、次の評価を行う。
判定: 方法 1 の試験サイクル A
評価方法: 試験片を、ぬれ時間 18 分、乾燥時間 102 分、乾燥温度: 50±5%とする。(JAS K 8000-1-1 4.4-60%)

評価項目・方法
評価項目は、ふくれ、割れ、はがれの有無および色の変化の程度とする。ふくれ、はがれ、割れの有無は、試験と見本品の促進耐水性試験片を目標で比較する。色の変化の程度は、試験の促進耐水性試験片と試験の提供試験片との色の差、および見本品の促進耐水性試験片と見本品の提供試験片の色の差を目標として比較し、さらに試験と見本品の色の差の大小を比べる。

判定
上記評価項目・方法に依り、ふくれ、割れ、はがれがなく、色の差の程度が見本品と比べて大きくないものとする

・見本品
見本品は JAS K 8000-1-1 8 の区分によって以下に分類する。

試験項目	評価項目	見本品の区分
試験片の外観	色、つや	形状 規定方式
促進耐水性	色の差	塗料見本品 仕入見本品 中心見本品

かび抵抗性試験: JAS Z 2911 によるほか次の通り。
試験片の作成: この試験に用いる試験片は試験片の寸法の範囲は、JAS Z 2911 8.3 (試験に用いるかび)に規定されているもので、次の通り。
第4 目盛りの a) クラウド・クラウド・クラウド・クラウド(NBR0346)
第4 目盛りの b) オール・オール・オール・オール(NBR0346)

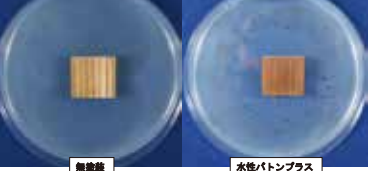
第4 目盛りの a) クラウド・クラウド(NBR0346)
試験片: JAS K 1671 (木材保護塗料の性能試験方法及び性能基準)に規定される二重のステンレス板(50×50×5 mm)を用い、ガス滅菌処理した後、木口をエポキシ樹脂で封止し、試験(対象塗料)を木口面以外の 4 面を均等に塗布して試験片とする。

試験方法: JAS Z 2911 8.3 (試験片の試験)による。
判定: JAS Z 2911 8.3.1 (試験片の試験)によって結果を判定し、試験の結果が、JAS Z 2911 8.3.2 (試験片の試験)の試験片の試験部分に菌糸の生育が認められないときは、「かび抵抗性を有する」とする。

結果
促進耐水性試験



かび抵抗性試験



無塗料 水性バトンプラス

カラーバリエーション

人と環境に優しく、使いやすく、優れた耐候性

外部用

W P

水性バトンプラス

—— 自然系木材保護塗料 ——

常備色16色

荷姿：14kg、3.5kg、0.8kg



#5001+ 透明



#5003+ ナチュラルブラウン



#5013+ ライトオーク



#5023+ ホワイト



#5005+ グレー



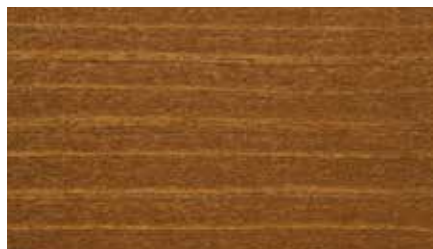
#5015+ レッドオーク



#5025+ ブラック



#5007+ パイン



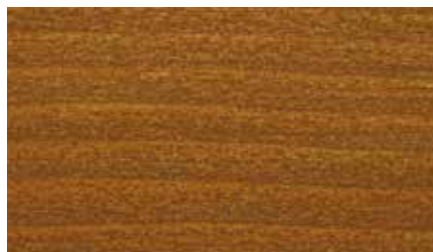
#5017+ オーク



#5027+ グリーン



#5009+ ダークブラウン



#5019+ ウォルナット



#5029+ ブルー



#5011+ ミディアムブラウン



#5021+ アイアンレッド



#5031+ イエロー

- 木材によって色相が異なる事があります。塗装前に必ず試し塗りをして下さい。
- この色見本は印刷のため実物とは多少異なります。

実績



千葉県 なるとうこども園



岐阜県 みんなの森ぎふ メディアコスモス



兵庫県 西宮こども家庭センター



陽だまりハウス

塗装工程

木材保護塗料塗り(WP) 国土交通省 官庁営繕部 公共建築工事 標準仕様書対応

工程		A種	B種	使用塗料	塗布方法	塗装条件23℃	
						塗付け量 (kg/m ²)	乾燥時間
1	素地調整	P120～P240ペーパー（その他、公共建築標準仕様書に基づく）					
2	下塗り	○	○	水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	0.06～0.1	4時間以上
3	上塗り (1回目)	○	○	水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	0.06	12時間以上
4	上塗り (2回目)	○		水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	0.04～0.06	12時間以上

目安として、塗料1kgでA種では6.2m²、B種では8.3m²塗装できます。

- 本仕様は国土交通省 官庁営繕部 公共建築工事 標準仕様書に基づきます。個別の仕様については、別途ご相談下さい。
- 材質により塗付け量は異なります。また塗装後、湿度や温度に応じて乾燥時間を調整して下さい。
- 特記がない場合は、B種に沿って塗装して下さい。
- ヤニが多い木材については、ラッカーシンナーまたはアルコール等で表面のヤニを取り除いて下さい。または焼きこて等を使い処理して下さい。
- 旧塗膜がある場合、塗装できません。旧塗膜を完全に除去した後に塗装を行って下さい。

使用上の注意

- 水性バトンプラスは希釈しないで原液のまま使用するように設計されています。
- 色の濃度調整は#5001+透明を使用して下さい。但し、#5001+ 透明の割合が増えるとその分耐候性は低下しますので、ご注意下さい。
- 水での調整はできません。水性バトンプラスの性能が著しく損なわれますので使用しないで下さい。
- 使用する前に必ず棒などで底部より、よく攪拌して下さい。また使用中も攪拌して下さい。

塗装上の注意

- 水性バトンプラスを塗装直後、雨がかからないように注意して下さい。十分に乾燥しないうちに雨などで濡れると、色が流れ落ちたり、薬剤などの有効成分が流れ出たり、斑点などが残る事があります。
- 木材の含水率は20%以下に調整して下さい。
- 雨天の日や気温が5℃以下の時は塗装を避けて下さい。
- 標準塗付け量を超えて塗装されますと乾燥が遅れる場合があります。余分な塗料はウエス等で拭き取りを行って下さい。
- 下塗りが未乾燥のうちに塗り重ねると、乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意下さい。
- 水性バトンプラス#5001+透明の単独使用は避けて下さい。(顔料を配合しておりませんので、紫外線に対しての耐候性は有りません。)
- ベンチ、ウッドデッキ、バルコニー等の色落ちにより衣服を汚すおそれのある部位への塗装は、乾燥後ウエスなどで乾拭きして下さい。塗膜は強く擦ると物理的に色が落ち、衣服に色が付着するおそれがあります。

取扱い上の注意

- 塗料が付着したウエスや塗料カスは廃棄するまで必ず水につけて下さい。自然発火のおそれがあります。
- 塗装した刷毛の洗浄には石鹼水、または食器用洗剤等を使用する事を推奨します。
- 塗料の廃液、洗い液は下水などに流さないで下さい。地方自治体の処分方法に従って処分して下さい。
- その他、容器に記載の注意事項及びSDSをよくお読みの上ご使用下さい。
- 塗料の保管は密閉して、子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。

人も地球も元気に!



創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー

大谷塗料株式會社

本 社・工 場 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目1番18号
電話06(6976)0251(代)FAX.06(6971)4901

東 京 〒357-0023 埼玉県飯能市岩沢170番地
電話042(974)3191 FAX.042(974)2888

九 州 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町82-1
電話0964(22)1903 FAX.0964(22)1799

熊 本 工 場 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町
電話0964(22)4745 FAX.0964(22)4746

ISO14001HS09001
認 証 工 場

URL <https://otanipaint.com/>

代理店